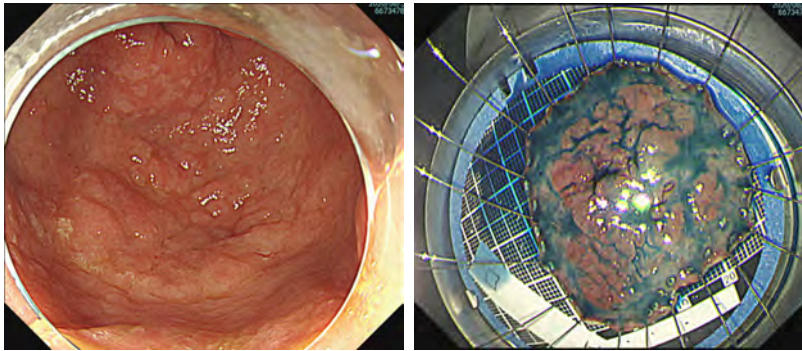




内視鏡センターのアピールポイント

2020年4月に新センターがオープンしました。
センター内に内視鏡室が6部屋あり、隣の放射線透視室2部屋で消化器内視鏡と呼吸器内視鏡の透視検査を行なっています。
OLYMPUSとFUJIFILMの2社の最新機種の内視鏡を備えており、それぞれの内視鏡の特性(特に画像強調)を生かして、診断と治療にあたっています。
また、県内他施設に先駆けて、超拡大内視鏡とAI診断装置を備えています。



講座研究紹介

*H. pylori*の研究を中心に、消化管・胆膵疾患と内視鏡に関する研究を行っています。

- **H. pylori*と胃癌との関係
- **H. pylori*感染の内視鏡診断
- **H. pylori*陽性進行胃癌に対する化学療法 of 検討
- *超拡大内視鏡を使用した大腸疾患の粘膜所見の検討
- *消化管出血に対する緊急内視鏡施行の客観的指標確立に向けた検討
- *大腸憩室出血の再発予測に関する検討
- *悪性胆道狭窄の術前ドレナージのステント径に関する検討
- *超音波内視鏡を用いた胆道ドレナージの検討 等々

英文原著論文 (2020年)

Fujimoto Y, Katayama Y, et.al. Predictive value of risk score using Kyoto classification of gastritis a few years prior to diagnosis of early gastric cancer. JGH Open. 2020 Dec 23;5(2):280-285.

Kobori I, Katayama Y, et al. A case of *Helicobacter pylori*-negative gastric cancer associated with Cronkhite-Canada Syndrome. Clin J Gastroenterol. 2021 Feb;14(1):123-128.